

# 2006

(平成18年)

理事長 木下 勝好



## 志高く生きよう ～二十一世紀の青燃人～

### 2006年 松山市の動き

- 1月 松山城ロープウェイ駅舎リニューアル・ロープウェイ街整備完了
- 4～10月 小説「坊っちゃん」発表100年記念月イベント開催
- 11月 松山城保存修理（第2期工事）完了

### 出来事

- 1月**
  - 第1回定時総会・例会（ホテル奥道後）
  - 京都会議
  - 広報番組「我ら松山JC」（南海放送・～12月）
- 2月**
  - 例会「ハンディのある若者の進路」（松山市総合コミュニティセンター）
- 3月**
  - 自衛隊一日体験入隊
  - 例会「2006年度会員拡大事業中間報告」（愛媛県民文化会館）
  - 「俳句甲子園」がテレビ愛媛賞を受賞
- 4月**
  - 松山春まつり お城まつり
  - 公式訪問例会（内子座）
  - わかたづばきファンド受給者証授与式
  - 第53回四国地区フォーラム（鳴門）
- 5月**
  - 第19回わんぱく相撲まつやま大会
  - 例会「経営者としてJAYCEEとして、今何をすべきか…」（松山市総合コミュニティセンター）
  - 第56回JCI ASPAC 高松
- 6月**
  - 第36回四国地区愛媛ブロック会員大会（宇和島）
  - 愛媛ブロックスポーツ交流大会（南宇和）
  - 家族例会（北条スポーツセンター）
  - 第25回全国城下町シンポジウム（今治）
- 7月**
  - 例会「歌って出来る親孝行！ 詩ってみよう親孝行！」（松山市総合コミュニティセンター）
  - サマーコンファレンス（横浜）
  - 第22回わんぱく相撲全国大会
- 8月**
  - 松山JC創立記念パーティー
  - 第9回俳句甲子園（優勝・熊本情報女学院高等学校）
  - 第1回臨時総会・例会「想像を創造する」（松山市総合コミュニティセンター）
  - 第3回親守歌コンサート
- 9月**
  - 第23回まつやま市民シンポジウム
  - 例会「ユニバーサル社会と2010年まちづくりビジョン」（愛媛県武道館）
- 10月**
  - 第55回日本JC全国会員大会（郡山）
  - ウォークリー
  - 例会「2006年度社松山青年会議所事業報告会」（松山市総合コミュニティセンター）
  - 想いをつむぐ道しるべ
- 11月**
  - 第61回JCI世界会議（ソウル）
  - 第2回定時総会・例会「出向者アワー」（松山市総合コミュニティセンター）
- 12月**
  - 例会「卒業式・懇親会」（松山全日空ホテル）



▲1月 ラジオ出演する壇出シニアクラブ会長と木下理事長



▲8月 揃いのTシャツで気持ちを一つに



▲4月 大名行列・武者行列では総勢160名が約1.5キロを歩いた（春まつり）



▲8月 前夜祭として行われたウエルカムパーティ（俳句甲子園）



▲8月 74チームエントリー中36チームが全国大会に出場



▲5月 スローガンは「踏み出せ勇氣!!」（わんぱく相撲）

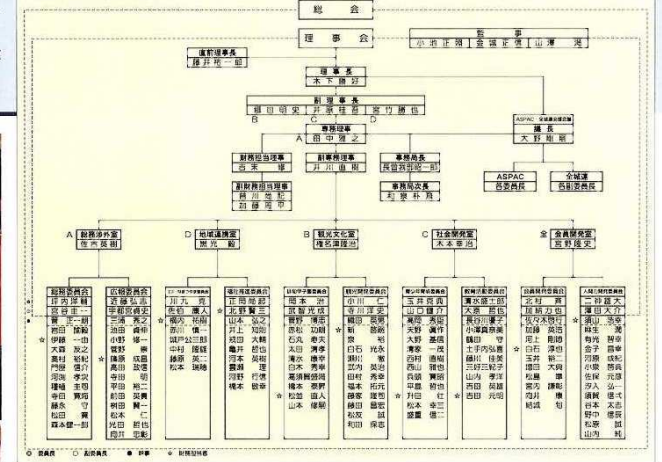


▲8月 2年前には6組だった出演者が15組に増えた親守歌コンサート



▲9月 対談やスポーツイベントで参加者が3000人を超えた市民シンポジウム

### 2006年度 組織図



## 社団法人松山青年会議所2006年度理事長所信

社団法人松山青年会議所

木下 勝好

### 『志高く生きよう 21世紀の青燃人』 セイネンジン

#### 基本方針

- 1.自らの責任において志を高く生きる
- 2.事業を通して「修練・奉仕・友情」の向上
- 3.対外事業の効率化
- 4.人間力の開発・向上
- 5.新入会員拡大・組織力の向上

#### 【はじめに】

2006年度の(社)松山青年会議所は、メンバー1人1人がもう1ステップ高い目標を持ち、志を掲げ、失敗を恐れる事なく歩んで行ける年にしたいと考えます。

我々、JAYCEEは必ず何れかの企業に属しています。また、その多くは自らの家庭を持っています。そして、今の現代社会を構成する重要な社会の一員であります。しかし、重要な責任を負った社会人であるにもかかわらず、時折1人の人としての、自覚と責任を忘れた行動を取る事があるのではないのでしょうか。これは、現代社会を取り巻く環境の中で、何も青年会議所メンバーに限ったことではありません。しかし、我々は次代の地域社会を担うリーダーとしての自覚を持ち、自らを律し、言動に責任持つことが肝要であります。その為にも、青年会議所メンバー1人1人が、もう一度自己を認識し、その上で高い志を持たなければなりません。そして、高い志強いエネルギーをもったメンバー1人1人が集まり同じ目標に向かって進んでいくことにより、(社)松山青年会議所全体の活動の意義を高め、地域社会により良い影響を与え続けて行きたいと思えます。

私は今の時代の青年会議所運動の本質は、そこにあると考えています。

#### 【事業を通して「修練・奉仕・友情」の向上】

(社)松山青年会議所で行う様々な事業は、「このまちを良くしたい」「子どもたちのためによりよいまちを残したい」という、常に純粋で熱い想いに支えられて多くの成功を導き出してきました。しかし、こういった我々の熱い想いとほうらはらに、その結果を揶揄する声を聞くことがあります。「人の事より自分の事を考えろ」「何の得にもならないじゃないか」、さて皆さんも果たしてそう思われるのでしょうか。ここで今一度、青年会議所の三信条を思い出していただきたいと思えます。

我々がJAYCEEとして熱い想いを持って展開する事業は当然ながら純粋な「奉仕」のころで行っています。皆それぞれ多忙な中、大切な仕事や家庭での時間を割いてまで多大な労力を遣う、この「奉仕」とは他では絶対に得る事のできない自己を「修練」する貴重な機会だという事を、メンバーの皆さんは気づいているでしょうか。また、そのことを誇りに思い日々の活動に取り組んでいるでしょうか。そして、私利私欲を捨てて純真無垢なころで「修練」する事によって、お互いの「友情」という大きな成果を生み出しているという事実に気が付いているでしょうか。

我々JAYCEEが行っている運動は、「与えるだけ」の運動ではありません。皆さんが苦勞し努力した成果は必ず、我が身の血や肉や骨となって結実し、結果として自分を一回り大きく成長させるための大事な栄養素となっているはずです。

### 【対外事業の効率化】

(社)松山青年会議所は「明るい豊かなまちづくり」を目指して年間を通してさまざまな事業を主催しています。その多くの事業はいろいろな関係団体のご協力により開催しています。

我々の主催するさまざまな対外事業が更なる発展を得るために 主催者としての正しい認識を持った上で、いろいろな団体から新しい発想や事業に対するご意見をいただき、運営にも参画していただきたいと思えます。そうすることによって青年会議所としての方向性以外にも新たな発想や展開を視野に入れることもでき、より良い事業へと発展する可能性が大きくなると思えます。また、その結果、我々JAYCEEが行う地域活動の中で地域に根ざした真の地域参加型の事業となることが出来ると思えます。そして、事業の見直しが必要とされているところは全面的に見直し、地域のまちづくり運動を行っているいろいろな方々と連携をもって積極的な参加を基本とした対外事業を行っていこうと考えています。

### 【人間力の開発・向上】

今の我々JAYCEEにとって、また(松山)青年会議所にとって最も必要な事はメンバー1人1人の人間力の開発及び向上だと考えています。大きな視野に立って一切の先入観に捕らわれず偏ったものの考え方を捨てて、客観的に物事を見る。そして自分の価値観と異なったものを否定せず何事も謙虚に受け入れる。我々は、その上で人間としてのものの見方や考え方の向上を図らなければなりません。

日本青年会議所では『近年希薄になってきた人間的な育みを通して自己の成長をおこない、かつ自分自身だけの成長に留めることなく、その「気づき」や「学び」を多くの人に伝え、さらには明るい豊かな社会の創造に寄与することを「人間力」と称す。』と定義しています。

また「自らに活力と知力を兼ね備え、積極果敢に社会改革運動を実践していく力であり、かつ社会動物である人間がより成熟した社会を求めていく力」であると考えているようです。

我々にとって、『今、何故人間力が問われているのか。真のリーダーシップとは何なのか。』という事を常に問いかけ、自分が知っている自分だけが本当の自分ではない事を気づき、自己を知る事は私たちが成長するための原点であるという事を改めて学ぶ、そして一年を通して全てのメンバーと本物の「気づき」が得られるよう取り組んでいきたいと思えます。また、人間力の開発を進めていくと同時に、産業活性化や経営力の開発も積極的に行っていきたいと考えています。

2006年度、「人間力開発」行うことにより、さまざまな要素から構成されている人間力を身につけ、自分自身だけの「成長」や「学び」「気づき」にとどめることなく、多くの人に伝えていくことで、多くの人と共有の価値観を持ち、(社)松山青年会議所が目指す地域に根ざした『明るい豊かなまちづくり』の実現へ、また「世界平和と繁栄に貢献し、地球上の全てひとと共に生きること」につながると信じています。

### 【新入会員拡大・組織力の向上】

社会に有用な事業を展開している社団法人として、(社)松山青年会議所における会員の拡大・増強はメンバー全員で正面から取り組んでいかなければならない重要課題であると言えます。また、組織の運営にあたり会員資質の向上等々、組織力の「強化と教化」が求められています。

これまでも多くの先輩諸賢から学び、そしてこれからも連綿と引き継がれていく郷土松山での青年会議所活動において、いわゆる数は力としての新入会員の拡大を図るという根幹の「強化」を推進しながら、現役メンバーに対して、JAYCEEとしての相互研鑽・自己啓発に関する意識の向上や、確実に自らの責任・義務を履行する必要性について、組織的な「教化」が求められると考えられます。

明るい地域と豊かな社会の実現のために、(社)松山青年会議所の活動並びに事業の成功を願い、そして明日の“まつやま”を担う人材の育成のために「修練・奉仕・友情」の三信条を、現役メンバー全員が今一度見つめ直し、新入会員の拡大と組織力の向上に努めていきたいと思います。